

# Elazzio

---

## SEAT COVER



**TOYOTA**

**ALPHARD  
VELLFIRE**

**ALPHARD HYBRID  
VELLFIRE HYBRID**

専用シートカバー取付説明書

1515/1517/1521/1652

# Elazzio

## SEAT COVER

このたびは「Elazzio シートカバー」をお買い上げいただき、  
誠にありがとうございます。

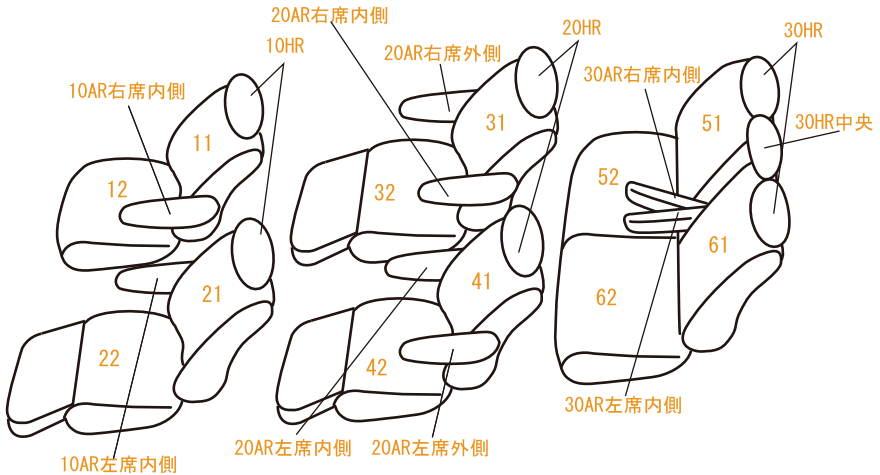
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する  
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

## INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P~2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P~4P
1 列目運転席座面の装着方法	…> 5P~7P
1 列目背もたれの装着方法	…> 7P~10P
2 列目座面の装着方法 <small>※助手席ロングスライドシートの座面も同様</small>	…> 11P~14P
2 列目背もたれの装着方法	…> 14P~16P
3 列目座面の装着方法	…> 17P~18P
3 列目背もたれの装着方法	…> 19P~20P
ヘッドレストの装着方法	…> 21P~23P
アームレストの装着方法	…> 23P~24P
完成図	…> 24P
コンビニフックの加工方法	…> 25P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 26P~27P

## 本製品シート形状とパーツの名称



※このシートレイアウトは、ガソリン車・助手席スーパーロングスライドシート・3列目アームレスト装備車のみを使用しています。

### 取付必要工具



① ソケットレンチセット (12mm / 14mm)

※ソケット12mmは3列目アームレスト装備車のみで、  
長めのソケットが必要

② プラスドライバー

③ クラツィオ 専用 ヘラ (付属)

この商品では上記の工具を使用します

## シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。  
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。  
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。  
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

## 本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかきつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

## シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

## ⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

## ⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

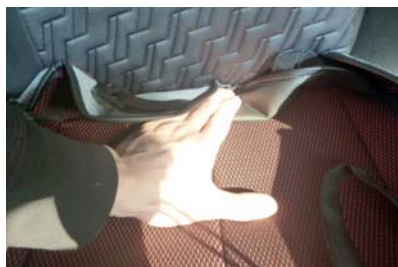
## Step 1

## …> 1 列目運転席座面の装着方法

※図は主にガソリン車の画像を使用しています。



- 1** 始めにシート背面からシート裏に回っている生地を、図のように外します。生地はゴムでシート裏に引っ掛けて固定されています。



- 4** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。



- 2** 1番の生地をめくり上げた内側に、シート裏で黄色のサイドエアバッグの配線がマジックテープで固定されています。マジックテープを外して、配線を外側の端へ寄せておきます。



- 5** 配線部分に注意して、入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 3** シートを一番高い位置まで上げてカバーの装着を行います。カバーを図のように裏返して、シートのラインに合わせます。



- 6** シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。





- 7** カバー前側に付いているベルトを、スライドレバーの上を通してシートの背面側から引き出せるように入れ込みます。



- 10** ガソリン車はシートの内側も、シートとプラスチック部のフチに生地を入れ込みます。



シートとプラスチック部のフチ部分

- 8** シートとプラスチック部のフチに生地を入れ込みます。生地が入り込みにくい部分はヘラなどを使用して入れ込んで下さい。



モケモケとしたマジックテープの貼り付く生地

- 11** ハイブリッド車はシート内側のシート地に、カバーのマジックテープを直接貼り付けて固定します。

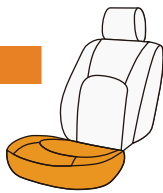


生地の入り込み部分

- 9** シート外側の付け根部分は隙間が大変狭くなっています。生地をプラスチック内側の矢印の方向へ向けて入れ込むことで、生地がきれいに入り込みます。



- 12** 7番で入れ込んだベルトをシートの背面から引き出します。引き出したベルトを5ページ5番で引き出した生地に付いているバックルに通して固定します。  
※バックルの通し方は7ページ13番をご覧ください。



## Step 2

## 1列目背もたれの装着方法



- 13 ベルトは①→②→③の手順で、まずバックル中央に通し、折り返してバックルの端に通します。通したベルトを引くとカバーの前後を引き絞り固定されます。ベルトは強く引きすぎると、縫製糸が切れてベルトが抜けてしまう恐れがありますので、ご注意ください。



- 14 シート背面側は図のようになります。



- 15 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面の完成です。助手席ノーマルシート車は、一部形状は異なりますが、同様に取付けます。助手席スーパーロングスライドシート車は11～14ページの、2列目座面の装着方法を参考に、カバーの取付けを行って下さい。

### ⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けてください。



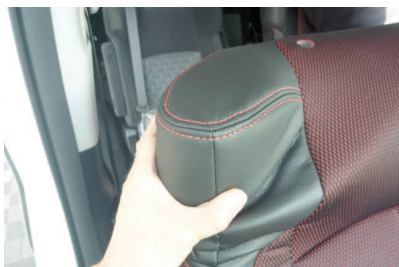
- 1 1列目アームレスト装備車は、アームレストを外します。始めにヘラなどを使用して図のブラキャップを外します。※アームレスト未装備車は4番からご覧下さい。



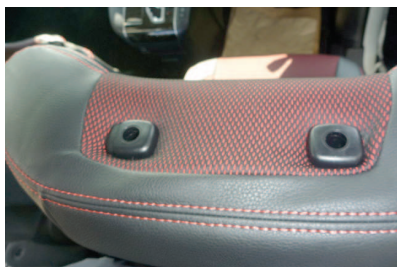
- 2 アームレストを固定しているボルトを、ソケットレンチなどを使用して外します。ソケットは14mmを使用します。



- 7P ▶ 3 ボルトを外すと図のようにアームレストが外れます。



- 4 カバー背面のファスナーを開けて、カバーをかぶせます。始めにシート肩口に生地がしっかりと馴染むように、シートに密着させていきます。



- 7 生地の伸びを利用して台座を取り出します。



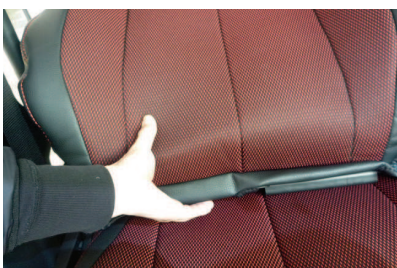
- 5 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 8 シートの付け根部分に生地を入れ込みます。



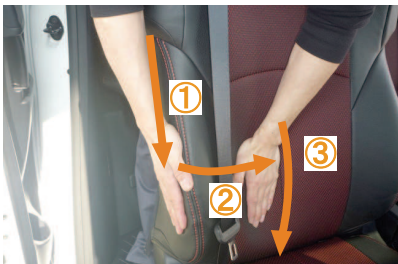
- 6 ヘッドレストの台座を取り出します。台座の片側のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



- 9 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。入れ込む生地にはフックが付いています。フックでシート地・カバーの生地を傷付けないようにご注意ください。



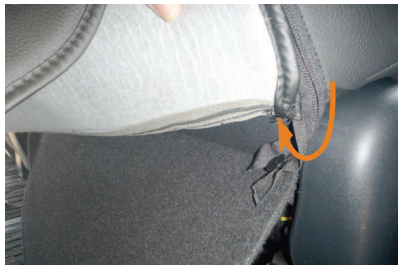
- 10 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。  
 ※この際、フック部分を掴んで強く引き出すと、縫製糸が切れる、また生地が破れる恐れがあります。ある程度引き出した後は、生地をしっかりと掴んで引き出して下さい。



- 11 カバー側面の生地を①→②→③の順番にシート中央へ集めるようにして馴染ませていきます。中央に集まった生地を10番と同様にシートの背面から引き出します。生地がシートに馴染むまで繰り返し行って下さい。  
 ※図は2列目背もたれを使用しています。



- 12 側面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。  
 ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 13 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



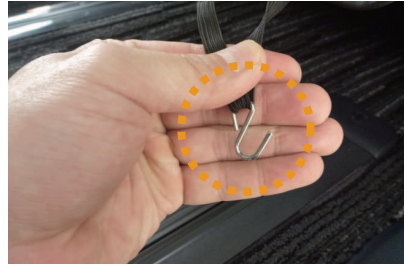
- 14 10番で引き出した生地に付いているフックを固定します。シート背面下の図の点線部分にフックを引っ掛けて固定します。



- 15 まず端側のプラスチック部にフックを引っ掛けます。こちらは引っ掛かる幅が1センチ程しかないため、しっかりと端に寄せます。



16 次に中央側の幅の広いプラスチック部にフックを引っ掛けます。



19 カバーの背面下に付いているゴムに付属の金属フックを取り付けます。



17 2本のフックを引っ掛けると図のようになります。フックは9ページ15番のプラスチック部側へ寄せるようにして下さい。



20 金属フックはシート裏の金属部分に引っ掛けて固定します。シート背面下は図のようになります。

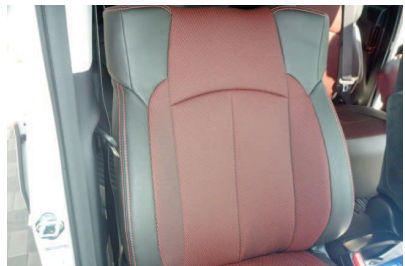


**注意**

サイドエアバッグが装備されているシートでは、15番・16番・17番の固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。



18 5ページ1番で外した生地を元通りに固定します。



21 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。

カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席ノーマルシート車は同様に取付けます。

助手席スーパーロングスライドシート車は14～16ページの、2列目背もたれの装着方法を参考に、カバーの取り付けを行って下さい。

## Step 3

## …> 2列目座面の装着方法

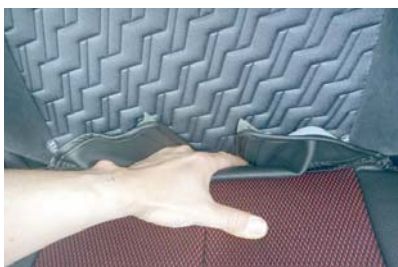
助手席ロングスライドシートの座面も形状は異なりますが、固定方法は同様です。こちらの説明を参考に装着を行って下さい。



- 1** オットマンを一番上まで上げた状態でカバーの装着を行います。オットマン部分からカバーをかぶせます。矢印の方向へオットマンの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせます



- 2** シートのラインに合わせてカバーをシート全体にかぶせます。



- 3** 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 4** 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 5** 引き出した生地を直接シートにマジックテープで貼り付けて固定します。



- 6** シートの付け根部分です。シートのクッションを少し持ち上げるようにして隙間を作ります。その隙間にカバーの端が付いている固定部材を、シートを巻き込むようにして入れ込み固定します。内側外側共に行います。



- 7** カバー側面の生地をシートとプラスチック部のフチに入れ込みます。カバーのラインがシートからずれないように注意して、内側外側共に入れ込みます。



- 10** 図の隙間から内側外側のゴムを、共に入れ込みます。



- 8** オットマン付け根部分の生地に幅の広いゴムが内側外側2本ずつ付いています。



- 11** オットマンを跳ね上げた裏側をシートの前側から見た図です。図には写っていませんが、入れ込んだゴムをオットマンの内側から引き出してゴム同士を矢印方向へ引っ張り、金属フックでつなぎ留めます。



- 9** オットマンに近い方のゴムに付属の金属フックを取り付けます。内側外側にゴムがありますが、片側のみ金属フックを取り付けます。



- 12** もう1本のゴムも9番同様に金属フックを取り付けて、オットマン付け根の内側にゴムを真っ直ぐに引っ張り、オットマン内部の金属部分に引っ掛けて固定します。図では固定位置が見えづらいですが、オットマンの動作に干渉しない位置に金属フックを固定して下さい。



- 13** オットマン付け根部分のプラスチック部に生地を入れ込みます。生地を入れ込む前に図のプラスチック部の内側にヘラなどを差し込むとツメが外れてプラスチック部が開きます。こうすることで生地が入れ込みやすくなります。



隙間が狭いので慎重に入れ込む

- 14** 生地を入れ込んでいきます。図の点線部分にシートのラインに合わせて生地を入れ込みます。**13番**で開いたプラスチック部は生地を挟み込み固定します。生地を入れ込み過ぎるとツメがはまらなくなるのでご注意ください。



- 15** 生地を全て入れ込むと図のように収まります。先端に生地が余る用だとカバーがシートのラインからずれている可能性があります。その場合はカバーの装着位置を再度調整して下さい。



ヘラが入り込む隙間部分  
2列目オットマンには2カ所

- 16** オットマン側面の生地裏に、図のような小さい部材が付いています。こちらはオットマンのフチに図のようにヘラが入り込む隙間が**一部分**のみあるので、その隙間に部材を入れ込みます。助手席スーパーロングスライドシートの車は**18番**もご覧ください。



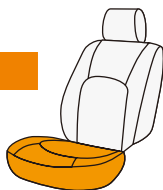
- 17** ヘラなどを使用して部材を入れ込みます。入り込む隙間は本当に限られた位置にしかありません。カバーの装着や生地の引っ張り具合により、部材と入れ込む隙間の位置にずれが生じます。その場合はカバーの装着を調整して下さい。



ヘラが入り込む隙間部分、助手席スーパーロングスライドシートには1カ所

- 18** 助手席スーパーロングスライドシートのオットマン部分も同様です。こちらは部材を1カ所のみ入れ込みます。





## Step 4 ...> 2列目背もたれの装着方法



- 19** 部材はヘラなどを使用してしっかりと入れ込みます。これによりカバー側面の生地は浮きなどが抑えられます。



- 1** 背面のファスナーを開けた状態で、肩口のシートベルトをかわして、シートを包み込むようにカバーをかぶせます。



- 20** カバーのラインを整えて、2列目運転席側座面の完成です。



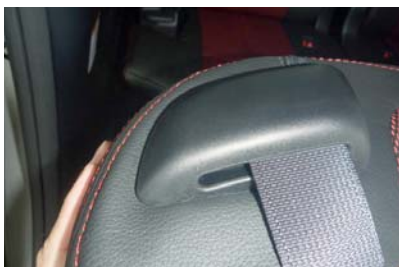
- 2** 背面のファスナーを10センチ程度閉じておきます。完全には閉じてしまわないようにして下さい。



- 21** 助手席スーパーロングスライドシートの座面です。カバーのラインを整えて完成です。



- 3** シート肩口のシートベルトが出ている台座部分のフチに生地を入れ込みます。



- 4** シートベルト台座部分は図のようになります。ヘッドレストの台座も加工穴から取り出します。



- 7** 入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



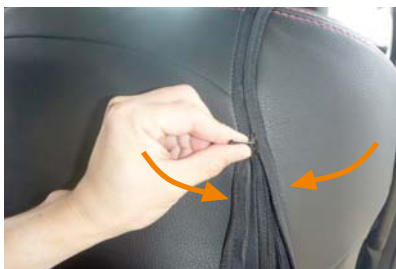
- 5** カバーをシート全体にかぶせます。始めにシート肩口に生地がしっかりと馴染むように、シートに密着させていきます。



- 8** カバー側面の生地を①→②→③の順番にシート中央へ集めるようにして馴染ませていきます。生地がシートに馴染むまで繰り返し行って下さい。



- 6** カバーのラインに合わせてカバーをかぶせて、背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 9** カバー背面のファスナーを内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 10** ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



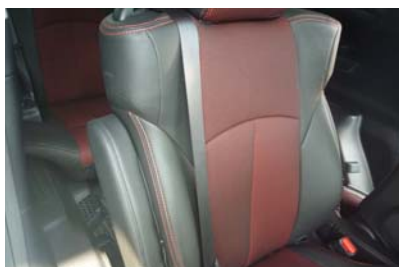
- 13** 助手席スーパーロングスライドシートのシート背面にあるレバーのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



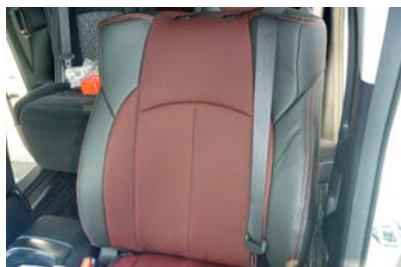
- 11** 15ページ7番で引き出した生地とカバーの背面下を、マジックテープで固定します。



- 14** レバー部分は図のようになります。



- 12** カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。1列目助手席スーパーロングスライドシートの車は**13**～**15**番もご覧下さい。



- 15** カバーのラインを整えて助手席スーパーロングスライドシート背もたれの完成です。

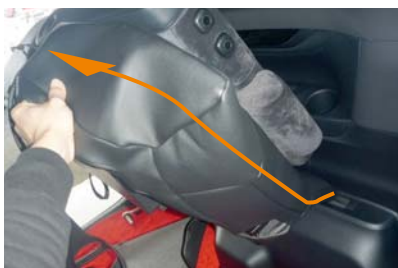
## Step 5

### …> 3列目運転席座面の装着方法

助手席側で説明を行っています



- 1 始めに外側に突起している箇所のシート部分にカバーをかぶせます。シートを少し斜めに跳ね上げると隙間が出来てカバーをかぶせやすくなります。シートの先端までしっかりとかぶせます。



- 2 1番の部分を軸にして、シートのラインからずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 3 シートを跳ね上げて、シート裏の脚の部分をかわずようにかバーをかぶせます。



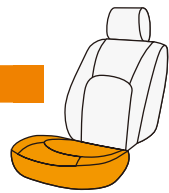
- 4 シートを車体側に固定してカバーのラインを整えます。シートベルトバックルが収納されている位置と、カバーの加工穴を基準に合わせるようにすると、正常なラインにカバーが装着できています。



- 5 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、シート背面から引き出します。



- 6 シート外側面の付け根の生地を奥へ入れ込み固定します。



7 シート内側の角に、生地を引っ掛けるようにしてカバーをかぶせます。



10 シート前側のレバー部分のフチに、中のネジを緩めて生地を入れ込みます。



8 17ページ5番でシート背面から引き出した生地と、シート裏から引き出した生地をファスナーで固定します。生地同士を寄せ合い、ファスナーを慎重に閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



11 シートベルトバックル収納部にカバーの加工穴と位置を合わせて、フチに沿って生地を入れ込みます。入れ込んだ生地をマジックテープで直接シートに貼り付けて固定します。収納部後ろ側の生地の内側に、ゴムが付いています。ゴムは2個あるシートベルトバックルを一緒に通して、バックルの根元まで入れ込みます。こうすることで、生地が浮かないように抑えられます。



9 シートを跳ね上げた際に車体側に固定するバックルをカバーの加工穴に通します。



12 カバーのラインを整えて、3列目助手席側座面の完成です。運転席側も同様に取り付けます。

## Step 6

### …> 3列目背もたれの装着方法

アームレスト未装備車は4番からご覧下さい。  
主にアームレスト装備車の図を使用しています。



- 1** アームレストを外します。図のブラキャップをヘラなどを使用して外します。



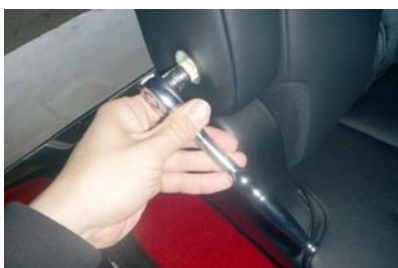
- 4** カバーを図のように半分程裏返して、シートの先端まで生地が張るように、しっかりとかぶせます。



- 2** こちらのアームレストを固定しているナットは、通常のソケットでは届きません。長さが40mm以上あるナットを使用して下さい。



- 5** アームレスト装備車は、アームレストを外した後の軸部分が突起しているのので、カバーをかぶせる際に慎重にかわします。生地を引っ掛けたりすると、破れたり傷が付いたりするので、ご注意下さい。



- 3** ソケットの長さが40mm以上あるものを利用して中のナットを外します。ソケットは12mmを使用します。ナットを外すとアームレストがシートから外れます。



- 6** シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。ヘッドレストの台座をカバーの加工穴から取り出します。



- 7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 10 カバーのラインを整えて、アームレスト装備車の3列目助手席側背もたれの完成です。運転席側も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。



- 8 アームレスト未装備車のカバーには、内側面下にファスナーが付いています。生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーの端は、カバーの内側へ入れ込みます。



- 11 カバーのラインを整えて、アームレスト未装備車の3列目助手席側背もたれの完成です。運転席側も一部形状は異なりますが、同様に取り付けます。



- 9 7番で入れ込んだ生地を、シートの背面から引き出して、カバーの背面下とマジックテープで固定します

## Step 7

### …> ヘッドレストの装着方法



- 1 助手席スーパーロングスライドシート車は1列目の運転席側と助手席側でヘッドレストの大きさが異なります。軸の幅が広い方が運転席側です。パーツのタグ・カバーとヘッドレストの形状を確認して間違えないように装着して下さい。



- 2 カバーの前後を確認します。カバーは平らなブラッシュックが付いている方が前側です。カバーを図のように半分程裏返して、ヘッドレストの先端までしっかりとかぶせます。



- 3 ヘッドレストのラインに合わせて、左右均等に引きおろし、ヘッドレスト全体にかぶせます。



- 4 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。



- 5 カバーの前後についているブラッシュックを固定します。



- 6 ブラッシュックは板状のブラッシュックを生地と一緒に折り返して、フック側に巻き込むようにして入れ込み固定します。





- 7** ヘッドレストの裏は図のようになります。  
 ※軸回りはヘッドレストカバーが装着しやすいように、予め大きめに開いています。



- 10** マジックテープの付いた生地を内へ寄せながら、平らなプラスチックが付いている生地のマジックテープと固定します。



- 8** カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。  
 1列目2列目のヘッドレストは、形状は異なりますが同様に取り付けます。



- 11** 1列目と同様にブラックを固定します。ヘッドレスト裏は図のようになります。

### 3列目両サイドのヘッドレスト



- 9** 3列目両サイドのヘッドレストです。こちらは先端部分から、矢印の方向へカバーをかぶせていきます。



- 12** カバーのラインを整えて、3列目サイドヘッドレストの完成です



## Step 8

## …> アームレスト の装着方法

### 3列目中央ヘッドレスト

3列目中央のヘッドレストは3列目床下のデッキボード内に収納されています



- 13** 3列目中央のヘッドレストは、図のようにヘッドレストの角にカバーを引っ掛けて、全体にかぶせていきます。



- 14** カバーを全体にかぶせたら、ヘッドレスト裏でマジックテープを固定します。



- 15** カバーのラインを整えて、3列目中央ヘッドレストの完成です。

アームレストをシートに戻してカバーの装着を行います。

※シートに戻す前のアームレストにカバーを装着してしまい生地を馴染ませておくと、アームレストをシートに戻した際のカバーの装着が行いやすくなります。



- 1** アームレストを半分程裏返して、アームレストの先端までしっかりとかぶせます。



- 2** アームレストのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



- 3** 軸の部分にカバーを引っ掛けるようにかぶせます。

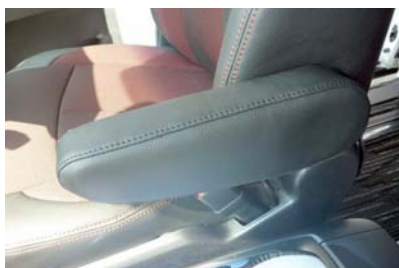
## 完成図



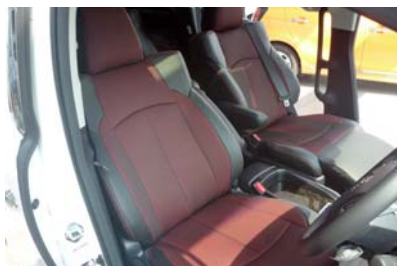
- 4 軸部分の生地をへらなどを使用してしっかりと入れ込みます。



- 5 アームレストを起こして、軸部分の生地をしっかりと入れ込みます。



- 6 カバーのラインを整えて、アームレストの完成です。  
形状は異なりますが、7人乗りの全てのアームレストは同様に取り付けます。  
※アームレストの軸にカバーを引っ掛ける際、生地が伸びて後ろで生地が余っている場合があります。そのような場合は、生地を前側に馴染ますようにしてカバーのラインを整えて下さい。



- 1列目・助手席スーパーロングスライドシート



- 2列目・オットマン使用状態



- 3列目・アームレスト装備車

## コンビニフックの加工方法

この車のコンビニフックはツメで固定されているため、これまでのネジで留められていたものより加工が非常に難しくなっています。

コンビニフックを、ご使用されるにあたりカバーに加工をされる場合は**自己責任**でお願い致します。



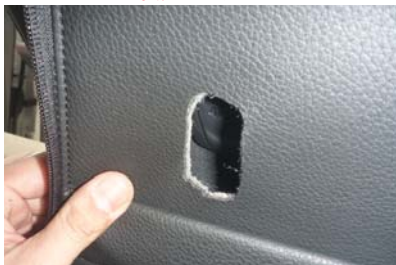
- 1 コンビニフックをシートから外さないままカバーの装着を行います。背もたれカバーが完全に装着出来たら、コンビニフックがある位置を指でなぞり、一回り小さめに生地印を付けます。



- 2 カバーの固定をコンビニフックが付いている側だけ外します。



- 3 生地を浮かせた状態で、印を付けた位置をカッターなどで切り取ります。シート表皮を傷付けたりしないよう、またカバーの生地を切り過ぎないように、作業は慎重に行ってください。



- 4 図のように生地を切り取ります。



- 5 コンビニフックのフチに生地を入れ込んでいきます。隙間が大変狭いため、ヘラなどを使用して隙間を作りながら入れ込むようにして下さい。



- 6 コンビニフックを加工穴から取り出し、カバーを元通りに固定して、コンビニフックの加工完了です。

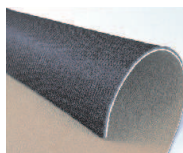


## After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

### ● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。  
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。  
(巾135cm・メートル単位での販売となります)  
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

**TEL 072-330-8000**

## …> 生地別メンテナンス方法

### ウルトラスエード

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



### 本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

#### ⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取ってください。



### PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



### ファブリック

#### ●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

#### ●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



[www.11i.co.jp](http://www.11i.co.jp)

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816